

# テレワークにおける家具の提案

## Proposal of furniture in telework

立浪岳歩

指導教員 坂元愛史

サレジオ工業高等専門学校 デザイン学科 インテリア・家具研究室

キーワード：テレワーク, インテリア, 生活習慣

### 1. 研究目的

2020年初めから新型コロナウイルスが世界中で猛威をふるった。その結果、新たな働き方として自宅などでのテレワークが普及した。学生である私自身も遠隔授業となったことで、自宅で勉強に適した空間を確保することに悩む経験をした。テレワークを利用するメリットは時間的、空間的な制約からある程度解放され、より柔軟に仕事に取り組めることが挙げられる。その一方でデメリットもあり、従来の学校やオフィスから離れる事で、人々に疎外感や孤立感を与えてしまい、ストレスやモラルダウンなどの感情的な不満を引き起こす危険性があるといわれている。さらに在宅勤務中には家の中まで監視されている気がするとか、仕事が長引き生活の時間が圧迫されるといった、プライベートな領域が仕事に侵食される危機感が強まっている。そういった心的な部分だけでなく、特に日本の狭い住環境を考えた場合は業務を行うスペースを確保することの困難さと、それが原因で家族とのコンフリクトを引き起こす懸念がある。メリット、デメリットの比重は様々に考えられるが、アフターコロナの状況や今回多くの人が理解したテレワークのメリットは計り知れないため、今後も遠隔での作業が普及していくのは止められないだろう。そこで本研究では、仕事空間とプライベート空間を両立し、さらに集中力を高め、仕事とプライベートのオン、オフを切り替えられる家具を提案する。

### 2. 調査内容

テレワークの現状について調査を行なった。

(1) テレワークにおける問題点。

テレワークにおける問題点を調査したところ、オンオフの切り替えができないなどの、プライベートと仕事の両立の問題が挙げられた。

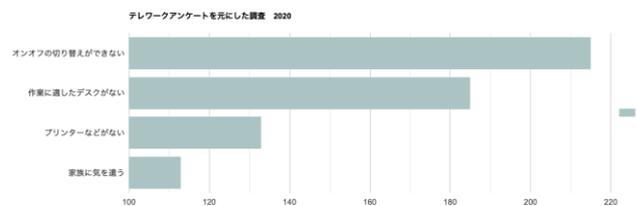


図1. テレワークの問題点調査

(2) 自宅での主なワークスペースを調査。

自宅での主な仕事、学習場所を聞いてみたところ、リビングと答えた人が全体の50%である事が分かった。自宅でも一番広々と使える空間である事が挙げられた。

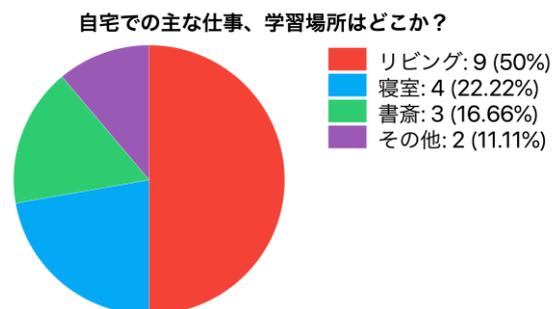


図2. 自宅での主な仕事場所

(2) 理想のワークスペースを調査

理想のワークスペースを目標にして、リビングのワークスペース家具を検討。すでに製品化された家具などを元に調査、実験を行なった。

#### ・パーティション型

テレワークの効率化、集中力を高める効果として期待できる手段である。実際に学校や塾の自習室に取り入れられており、余計なものが視界を邪魔せず目の前の作業を進める事ができる。しかし、リビング空間を独占したり、収納の面で懸念点がある。

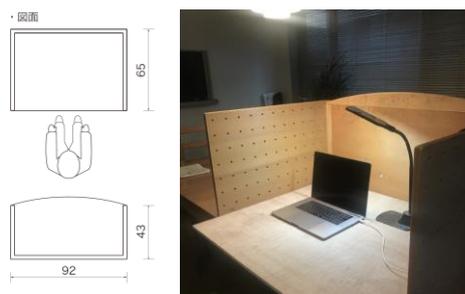


図 2. 視界を遮るパーティションで集中力が高まるか実験。

パーティションを作成し、自宅のダイニングテーブルで高さ 430mm の仕切りを用いてパーティション型の実験を行った。視界が遮られることで作業に集中できるが、圧迫感があり、常時設置ではリビング空間が狭くなってしまいう事が分かった。

#### ・個室空間、テント型

パーティション型をさらに強化した。プライベートを確保でき雑音を防ぐ事ができた。しかし、成人男性一人が入れる大きさとなると、かなりのスペースを独占してしまう。また後片付けも時間がかかり、毎日使用は常設が想定できる。

#### ・デスク、テーブル型

テレワークを利用場所として一番多くあげられたリビング、ダイニングテーブルは資料を広げられて作業しやすいと感じた。しかし食事を同じテーブルで食べる時など、一旦作業を中断して、片付ける必要があり、残業で夜まで仕事をする際に、不都合が出てきてしまった。

### 3. コンセプト

「オンとオフを切り替える事ができる机」

テレワークの問題点である。仕事とプライベートの切り替えをうまくできる。作業スペースを提案する。

### 4. アイデア展開

・屏風のように折りたたみができるデスク。リビングの作業スペースの確保として普段は棚として使い、展開する事で個室空間を作る事で解決する。

図 3

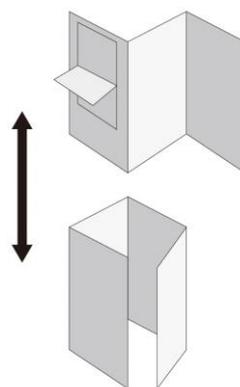


図 3. 展開して個室空間を作る。

### 5. 今後の展開

今後はアイデアを発展させて、型及び実寸大の試作を行い修正していく。また視覚や聴覚の観点だけでなく、匂いを使った。リラックス効果にも注目してさらに進めていく予定である。

### 6. 参考文献

- [1] 日本におけるテレワークの成功要因 2003
- [2] 総務省「通信利用動向調査」(平成 23 年～30 年)